

調理業務従事証明書		
従事者氏名（受験者） 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生		
次のとおり調理業務に従事したことを証明します。 年 _____ 月 _____ 日		
証明者の住所 _____ 証明者の地位 _____ 電話 _____ 証明者の施設名 _____ 証明者の氏名 _____ (印)		
勤務施設名		
勤務施設所在地	電話 _____	
施設区分	種類（該当のところに○印を付けること。） （飲食店等の営業許可施設） 1 飲食店営業 2 魚介類販売業 （喫茶店営業を除く。） 3 そうざい製造業 4 複合型そうざい製造業	許可・開設年月日、許可番号等 （許可・開設年月日） _____ 年 _____ 月 _____ 日 （許可（届出）保健所）
	（給食施設） 1 日 _____ 回 1 日平均 _____ 食	（許可（届出）番号） _____ 第 _____ 号
	1 寄宿舍 2 学 校 3 病 院 4 その他（ ）	（廃業年月日（廃業施設の場合に記載すること。）） _____ 年 _____ 月 _____ 日
	調理業務（飲料調製、食肉処理、製菓・製パン、あん類製造、水産製品製造及び製麺に係る業務を除く。）の内容 （該当のところ全てに○印を付けること。）	切る・焼く・煮る・炊く・蒸す・ゆでる・炒める・漬ける・揚げる・盛り付ける その他 （なるべく具体的に記載すること。）
上記の施設で調理の業務に従事した期間	_____ 年 _____ 月 _____ 日 から 合計 _____ 年 _____ か月 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで (除算期間 _____ 年 _____ か月)	
勤務日数及び時間	日／週 時間／日	
証明者が施設長でない場合の理由 （該当のところに○印を付けること。）	1 従事者と施設長とが同一人であるため 2 施設長が従事者の配偶者又は二親等内の血族であるため 3 施設が廃業しているため 4 その他（ ）	

注1 原則として当該施設長が証明すること。ただし、従事者と施設長とが同一人である場合、施設長が従事者の配偶者若しくは二親等内の血族である場合又は施設の廃業等により施設長がいない場合は、調理師会等所属団体の長又は同業者の証明がなされていること。
 2 証明印は、当該施設の施設長の職印を用いること。個人が証明する場合は、印鑑届のしてある印を用い、印鑑証明書を添付のこと。
 3 給食施設の開設年月日とは、寄宿舍、学校、病院等の施設であつて多数人に対して食事を供給するものとして開始した年月日をいうものであること。